

ヒューマン・エレメント プログラム
深い人間理解と強い絆づくり

HEEP

Human Element Program



1: 開発者: ウィル・シュッツ博士

アメリカの最も著名な心理学者の1人のウィル・シュッツ博士は、1950年代、アメリカ海軍の依頼を受けて「戦艦コンバット・インフォメーション・センター（戦闘情報センター）に対し、チームワークはいかにあるべきか」の研究を行いました。

2: キーワードは「協働性」

複数のチームを研究すると、生産性が高い集団と低い集団の違いに2つの要因があることがわかりました。それは、「①そのタスクを遂行するために高い専門性を持っていること」「②人々のチームワークが取れていること」でした。

ウィル・シュッツは②についてさらに研究を深めたところ、チームワークが取れている状態には、チームメンバーの協働性（他者とうまく働くための能力）が大きな影響を与えることが確認されました。

3: 行動を司る心の動きの関連性

ではなぜチームの生産性を左右する協働が円滑にできる人とそうでない人がいるのか、シュッツはその「個人」に焦点をあて、研究していきました。

シュッツは個人の行動を司る、感情、心の動きなどから人々と協働との関連性がないか考えてました。その結果人々と協働関係が築けない原因には3つの要素があることがわかりました。

4: 生産性が高い行動を司る3つの要素

シュッツが提唱した3つの要素とは

- ①自己重要感（自分のことを大切な存在だと思える）
- ②自己有能感（自分は困難なことも、何とか対処することが出来る）
- ③自己好感感（自分は自分の良い所も悪い所も含め、好ましく思える）

とし、セルフエスティームと呼びました。人と協働し、生産性の高い個人・チーム・組織にするにはこのセルフエスティーム向上がカギになることがわかってきました。

そしてそのセルフエスティームを高めるためにどのようにアプローチしていけば良いのかも整理され、生まれたのが「ヒューマン・エレメント」という概念です。

そしてヒューマン・エレメントを企業研修として実施しているのがこのHEPヒューマン・エレメントプログラムになります。

ウィル・シュッツ: 個人の能力開発の分野で全米で最も著名な学者
カリフォルニア大学ロサンゼルス校にて博士号を取得。同校心理学部、ハーバード大学、シカゴ大学などで教える。
セラピー、教育、組織活性化で斬新な理論と、経験的技法の研究開発で国際的に知られる。晩年はコンサルタントとして数多くの政府機関や民間企業にトレーニングを行った。

ヒューマン・エレメントプログラムの物語

ヒューマン・エレメントプログラムとは

What's HEP?

セルフエスティームが高い状態とは？



自分を大切にし、自分を誇りに思う気持ち。ポジティブな自己イメージのことを指します。

それはナルシズムや自惚れではなく、他者から見た自分も十分に受け止めることができている状態を言います。



セルフエスティームの特徴

高い

- ✓ 自信をもって課題に積極的に取り組む。
- ✓ 新しい課題に対しても挑戦的に取り組む。
- ✓ 周囲への気配りが自然にできる。
- ✓ 心から笑顔でいられ、他者に暖かくかわられる。



低い

- ✓ 課題を任されると負担に感じる。
- ✓ 自己責任で取り組むよりは依存する。
- ✓ 自信の無さを周りや環境のせいにして非難をする。
- ✓ 取り組む前から人がどう思うか気になる。



自己防衛行動とは？



セルフエスティームが低下すると、人は些細なことに感情的になり、防衛をしてしまいます。

自分自身にとって、受け入れがたい何か（指摘、事実、失敗、拒絶など）に直面する（直面しそうになる）と、セルフエスティームの低さ（重要でない、有能でない、好きでないという感情）が露呈してしまうのではないかとこの恐れが影響して表面化する行動です。

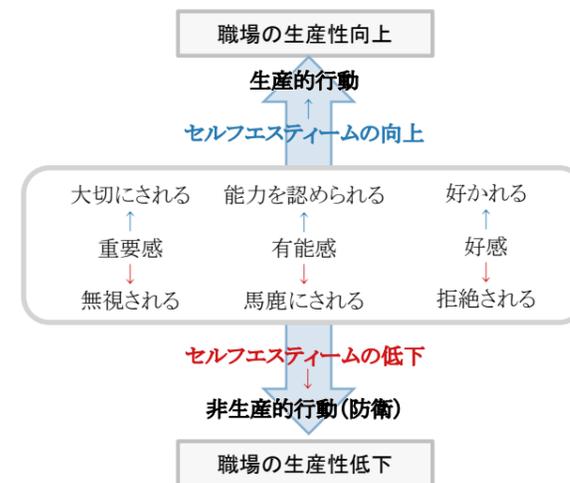
防衛は、一時しのぎにしかありません。そしてほとんどの場合無意識に行われています。

防衛行動は人間の自然な行動なので、全て悪いわけではありませんが、防衛行動が成長を阻害してしまったり、柔軟性を失ってしまったり、人と協働することを阻害してしまうことがあります。

セルフエスティームが低下し、防衛的な行動を取ってしまう例



職場の生産性とセルフエスティーム



セルフエスティームと組織の関連性



セルフエスティームを高めることで、その人自身が目の前の仕事に意欲的に取り組むことができる（生産的行動）とともに、他者へも良い影響を派生させます。

その相乗効果によって、組織全体へポジティブなサイクルを生じさせる結果、組織全体の生産性向上をもたらすことになります。



「深い人間理解と自己肯定感」



HEP

個人・チーム・組織の潜在能力を最大にするために、対人関係における重要なポイントを体験学習と理論から掴む。

Human Element Program

組織の中で起こっている問題の約80%は人間の感情が引き起こしていると言われています。あなたの組織ではどれくらい効果的に人の感情を取り扱っていますか？

HEPとは About the Program

本講座は、組織と個人の潜在能力開発の分野で著名な学者のひとりである故ウィル・シュッツ博士によって開発された『ザ・ヒューマン・エレメント』のアプローチをベースモデルにデザインされています。このモデルは国籍・性別・年齢の枠を超えて人間が共通に持っている基本的要素をもとに構成されており、本講座は世界45ヶ国以上で展開されています。

ヒューマン・エレメントプログラムのメインコンセプトにセルフエスティームの向上があります。セルフエスティームとは日本語訳としては自己評価とも言え、これが個人の生産性に大きく関係していると言われています。

本プログラムでは今のセルフエスティームの状態を知ると共に、セルフエスティームが向上するメカニズムを体験学習いたします。

目標観 Objectives

1. 自己への気づきを深め、対人関係において他者に与える影響を理解し、行動変容のきっかけをつかむ。
2. 他者との対人関係や問題解決を非効果的にしてしまう防衛（ゆがみ）のメカニズムの存在を知り、それらを取り除く姿勢を磨く。
3. 他者との間に強い絆を作るためのセルフエスティーム（自己肯定感）の重要性を理解する。

概要 Program Abstract

現在の自分を深く理解する

過去と向き合う

これからの自分と向き合う



自分を知る5つの方法

- ・自己内省
- ・他者からの指摘
- ・診断
- ・イメージ（想像）
- ・身体の反応



現在の自分になっている要因を過去の出来事から振り返る。

自身がどんな防衛のパターンがあるか知り、またそれが成長（自己概念の拡大）を阻んでいることを理解する。



プログラム開発者ウィル・シュッツの「全てはあなたが選択している」という考えから、将来あなたはどんななりたいかを明らかにし、日常の行動変革、中長期的な希望する姿を日々意識的に選択していく。

対象者 Intended Audience

- ✓ 職場の対人関係や部下との気持ちの繋がりをもっと強くしたいと感じている管理者
- ✓ 効果的な対人関係をつくるセンスやスキルを磨きたい技術者・SE・研究員
- ✓ 多様性・グローバル化の推進のために異なった文化・価値観・考えを受容できる柔軟性を身につけたい方
- ✓ あと一歩お客さまの懐に入り込んでいくことが求められる営業パーソン……等

予定スケジュール Schedule

	1日目	2日目	3日目	4日目
8:30				
9:00		講義 ヒューマン・エレメント理論	2日間のリフレクション	講義 ・人間力のあるリーダー
10:00		実習 対人関係における「感情」に気づく ・自己内省 ・他者からの指摘 ・診断 ・イメージ（想像） ・身体の反応	講義・実習 防衛のセッション	実習 相互フィードバック 講義・グループ討議 セルフエスティーム向上のために
11:00	11:00開始		実習 IF ONLY	
12:00	オリエンテーション ・研修の目標観 ・自己紹介			
13:00	昼食	昼食	昼食	昼食
14:00	講義・演習 自己理解とは リフレクション	気づきの発表	講義 ・セルフエスティームとは	講義 組織内アプローチ
15:00	実習 対人関係における「行動」に気づく ・自己内省 ・他者からの指摘 ・診断 ・イメージ（想像） ・身体の反応 ・気づきの発表	実習 自己概念に気づく ・自己内省 ・他者からの指摘 ・診断 ・イメージ（想像） ・身体の反応 ・気づきの発表	講義・演習 自己の歴史を振り返る	行動計画作成
16:00				15:00 終了予定
17:00		実習 フィードバック		
18:00	リフレクション	リフレクション	リフレクション	
19:00				
19:30	夕食	夕食	ソーシャルアワー	

※上記は予定スケジュールです。進行具合により、予定時間が前後する場合があります。

開催日程・場所 Date and Place

2020年 6月10日(水)～6月13日(土) 〈裏磐梯レイクリゾート(福島県耶麻郡)〉
2020年11月11日(水)～11月14日(土) 〈苗場プリンスホテル(新潟県南魚沼郡)〉
2021年 3月 3日(水)～3月 6日(土) 〈Royal Hotel 長野(長野県長野市)〉

参加費用 ¥420,000(税別) 料金には教材費・食事代・宿泊費を含む

※開催場所は変更になる可能性があります。受講者の方へは開催要項を別途お送り致します。

ヒューマン・エレメントの概念を活用した研修プログラム例

コアシステム	
-HEP- ヒューマン・エレメント・プログラム	3泊4日合宿形式 ¥420,000 (税別)
-HEP ライセンス - ヒューマン・エレメントの概念を社内で展開できるライセンスの取得。	5日間通い ¥350,000 (税別)
-グローバル HEP ライセンス - 40か国 15言語に翻訳され、多国籍企業でも活用されている HEP のグローバルライセンス。	・グローバル HEP 3,000米ドル 5日間 ・L-HEP 9,000米ドル 12日間 ※詳細は別途担当営業にご連絡下さい。



階層別研修	職種別研修	目的別研修
- 管理職クラス - 部下のモチベーション向上と職場の活性化へ向けて。	- 営業パーソン研修 - お客さまを理解し、また自身のモチベーションを向上し、より一層“売れる営業”へ。	- キャリアプラン・ライフプラン研修 - 自己理解を深め、将来像を明確にする。
- 中堅社員クラス - 自立型人材になるために自分自身と向き合う。	- システムエンジニア研修 - プロジェクトを効果的に進めていくためにヒューマンプロセスを取り扱う。	- 配転者研修 - 前向きに物事を捉える力を啓発する。
- 新人社員クラス - 起こっている問題や対人関係への積極性を伸ばし、一人前のビジネスパーソンへ	- CS 研修 - お客さま満足を高めるために深い人間心理の理解をする。	- ダイバーシティ推進研修 - 多様性を受容する柔軟性。人間力の啓発。

→HEPライセンス取得

ライセンス取得講座 取得ステップ



【フォロー体制に関して】

- ▶ 社内教育の年間計画もしくは、実施報告をご提出頂き、実施前、実施中、実施後における様々なご相談、ご質問に対してサポート致します。(当社コンサルタントとの研修合同実施も可能です。※有料)
- ▶ 年に一度、ライセンス取得者が集まるライセンスミーティング(情報交換会)を開催しています。

開催日程・場所 Date and Place

ライセンス取得講座
2020年 9月 8日(火)～ 9月12日(土) 〈BCon東京セミナールーム(本社)〉
2021年 2月 2日(火)～ 2月 6日(土) 〈BCon東京セミナールーム(本社)〉

参加費 ¥350,000(税別) 料金には教材費・食事代を含む

※開催場所は変更になる場合があります。受講者の方へは開催要項を別途お送り致します。

HEPライセンス取得～組織開発での活用事例 (※ホテル業)

真のCS(顧客満足)提供には、まず高いES(従業員満足)が必要と考え、福利厚生など外的な要因だけではなく、職場の人間関係が良い、風通しが良い、コミュニケーションが円滑であるというヒューマンプロセスの改善がテーマでありました。ヒューマンプロセスの改善には深い自己理解と、人間理解が必要です。ヒューマン・エレメントのコンセプトを通じて、高いCS/ES組織を目指しています。

人間理解を深め、真のES・CS組織へ

導入背景

- ▶ レベルの高いCS経営を実現していく必要がある。
- ▶ そのためには高いES組織である必要がある。
- ▶ 離職率を下げ、離職に伴う中途採用経費の削減。
- ▶ HEPの概念を学習し、自己への理解と人間理解を深める。

活用方法

- ▶ 社内の人材開発部門の方9名にHEPのライセンスを取得頂き、社内トレーナーとして、HEPを社内展開出来るような体制とした。
- ▶ 研修対象者は新任管理者。3日間の社内研修として導入。
- ▶ 目的は管理者という影響力が大きい立場になるにあたり、自身への自己理解と、人の感情のマネジメントの学習をする。
- ▶ 年間4コースほどの実施。
- ▶ 2005年度から社員の方々、計2850名の方々が受講。

成果

- ▶ 新入社員1年目の離職率が17.6%減少。
- ▶ 社内でお互いに感謝を伝え合う『thank you card』の発行数が3年間で約3倍になった。
- ▶ 最も老朽化していた赤字拠点が黒字化へ。

※出ている成果要因にはHEP導入以外の経営施策も影響は御座います。

HEPを導入しているグローバル企業例



※<http://thehumelement.com/>

対応言語:
英語・フランス語・ドイツ語・スペイン語・ポルトガル語・イタリア語・オランダ語・デンマーク語・スウェーデン語・ノルウェー語・ハンガリー語・中国語・韓国語・日本語

-HEPを使った組織はこんな成果を上げています-

643%	91%	24%	\$40M
ITベンチャーの成長率	顧客満足度アップ	コールセンターのパフォーマンス向上	コスト削減
<p>【組織】スウェーデンのITコンサルティング会社</p> <p>【課題】顧客サービスの改善と向上、それによる営業&マーケティング力の強化。コンサルタントが顧客先に滞在することもあり、顧客と長期的な強い関係を築くことが大切な事業。</p> <p>【活用法】コミュニケーションを重視するオープンな組織文化の強化浸透を目的とした全社プログラムのコア・テクノロジーとしてHEアプローチを活用。現在98%の社員がHEを受講。</p> <p>【成果】プログラムを開始した2006年から2014年の8年間で同社の年間売上は1600万スウェーデンクローネ(約2億2400万円)から1億300万スウェーデンクローネ(約13億8100万円)へと拡大(643%増)。</p>	<p>【組織】全米で1-2を争う癌センター</p> <p>【課題】全米でも高い患者満足を提供している組織だが、病室の清掃を行う部門においてだけ、PSが標準以下の成績。掃除機を音の小さいものに変えたり、清掃で部屋に入る回数を減らしたり様々な対策も効果を上げない。</p> <p>【活用法】HEを応用した顧客サービスの教育(2日間)を清掃部門の全職員とマネージャーに行う。その後毎月チーム・ミーティングを行い、さらに1日間のフォローアップ研修を行い、毎月のPS向上ミーティングに参加する。</p> <p>【成果】研修を始めてから全米で最も顧客満足度の高い病院の上位10%に入ることになった。</p>	<p>【組織】アメリカでトップ5社に入る携帯会社</p> <p>【課題】携帯電話のコールセンターの業績が低下している。上級スタッフ同士の葛藤やコミュニケーションの破たんがセンター全体の業績に悪影響を与えていた。</p> <p>【活用法】HEPを応用した、3日間の「コミュニケーション研修」を上級管理者に実施した後、継続的コーチングで葛藤解消。また上級管理者の直属の部下にあたる層に対して2日間のコースを実施する。</p> <p>【成果】売り上げの24%アップと対応時間の短縮。</p>	<p>【組織】大手グローバル石油会社。</p> <p>【課題】油田開発のプロジェクト。73%が地元ではない人員を採用しており、共通の文化を持たずコミュニケーションの問題があった。プロジェクト開始時から様々な技術上の問題が発生。</p> <p>【活用法】コンサルティングのうえ、プロジェクトの25名のリーダーにHEワークショップ(個人の気づき+チームづくり)を実施。その後中核となる60名のメンバーに対しても同ワークショップを行う。その後、経過を見ながらコンサルティングを行った。</p> <p>【成果】油田開発の成功を評価する指標のすべてで予測を上回り、さらにこれまでの油田開発事業の記録を突破する成果を上げる。</p>

※HEとは、ヒューマン・エレメントのこと

BCon公開講座の魅力

異業種の方々から刺激を受け、より学習効果が高められる“修羅『場』と『道具』と学び合う『環境』”を以下のように構成しています。

他流試合の 修羅『場』による打破

修羅場がリーダーを育てるといわれます。BCon公開講座では様々な修羅『場』を経験し下記の打破を目指します。
1. 自分自身のモノの見方・枠組みの打破 2. マネリ感の打破 3. 業界の枠組みの打破(パラダイム)

体験学習・ 行動科学の 『道具』による深い学び

年間3,000組織の実績から生まれたトレーニング/プロセスコンサルテーションのノウハウと最先端のビジネス/マネジメント研究を組み合わせることで開発された様々な『道具』を活用します。

参加者同士で 学び合う『環境』

各開催60~80名/35~45社の方々にご参加いただけます。
日本全国から第一線で活躍し、リーダーとして期待されるビジネスパーソンが集まります。ご自身の経験を発揮し、真剣勝負で他組織の方々とは議論し鍛錬する『環境』をご用意します。

本講座は、学習効果を高めるために、指定ホテルでの宿泊を前提とした講座です。このような宿泊手配を含み、多くのお客様からのご参加を募るプログラムは、「旅行業法」に定められた「募集型企画旅行」にあたり、当社と旅行契約を締結することになります。以下、法律に則した形で表記させていただきますので、ご確認の上お申し込みをお願いいたします。

- 旅行企画・実施：東京都知事登録旅行業第 2-7814 号
株式会社ビジネスコンサルタント
[一般社団法人日本旅行業協会 (JATA) 正会員]
東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー 18F
- 開催日程・会場：
※上記「開催日程」と「開催会場」をご確認ください。
※初日に現地 11 時集合、最終日は 15 時現地解散。
- 参加費用：
※上記「参加費用」をご確認ください。
【参加費用に含まれるもの】
講座の受講費、教材費、講座日程中の食事（朝食 3 回、昼食 4 回、夕食 3 回）、
3 泊分の宿泊費、弊社が用意をしたお茶、懇親会での飲食代（開催される場合のみ）
【参加費用に含まれないもの】
会場までの交通費、個人的な飲食代、ランドリー代、旅行保険料。
- 旅程管理業務の管理者は同行していませんが、弊社スタッフの方で諸々ご案内いたします。
- 講座の取り消し：
以下の場合、講座の実施を取りやめることがあります。
(1) 天災地変、戦乱、暴動、交通機関・宿泊機関のサービス提供の中止、官公署の命令その他の当社が関与し得ない事由により講座の開催が不可能になったとき。

- (2) お客様の人数が最小催行人数に満たない場合（今回は設定していません）
※当該事由が発生した際は、速やかにお客様に通知するものといたします。

6. 本講座に関するキャンセル費用に関して
※お申し込み後に講座への参加を取り消される場合は、下記に示す区分に準じて、キャンセル料を申し受けます。
※研修参加日程を変更する場合は、キャンセル料と新たにご参加費用を申し受けますのでご注意ください。
※日数の計算について土日・祝日を含めて算出いたします。
7. その他：

講座開始日 60 日前～46 日前	ご参加費用の 30%
講座開始日 45 日前～31 日前	ご参加費用の 50%
講座開始日 30 日前～8 日前	ご参加費用の 70%
講座開始日 7 日前～当日	ご参加費用全額 (100%)

- ※お一人部屋とさせて頂いております。全室に洗面所・トイレ・お風呂は完備されております。
- ※部屋割りにはできるだけ公平に行いますが、同じタイプのお部屋を用意できないことがあります。
- ※個人的なホテルのサービスのご利用の場合は、最終日の朝までにご清算をお願い致します。
- ※個人情報の取り扱いにつきましては、「公開講座参加申込書」をご確認ください。
- ※詳しい取引条件を説明した書面をお渡しし、取引条件を説明しますので、事前にご確認の上お申し込みください。

お問い合わせ お申し込み先

株式会社ビジネスコンサルタント

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-7-12 サピアタワー
TEL : 03-3287-3413 公開講座担当直通 FAX : 050-3730-0886
e-mail : info_kokai@bcon.jp

◎お申し込みは、
下記Webサイトよりお願いします。

URL <https://www.bcon.jp/course/>

※記載の内容は予告なく変更する場合があります。
※記載の内容は2019年10月現在のものです。

